

【小学校 理科】

単元の指導計画における観点別評価(評定に用いる評価)の位置付け 〈例〉

評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(ア)を理解している。 【知技①】 自然の事物・現象についての性質や規則性などについての理解	(A)について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 【思判表①】 観察、実験前 ・問題の見だし(3年) ・予想、仮説の発想(4年) ・解決方法の発想(5年)	(A)についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 【主体態①】 ・粘り強い取組を行おうとする側面 ・自ら学習を調整しようとする側面
(A)について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 【知技②】 観察や実験における器具の操作や、結果の記録	(A)について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 【思判表②】観察、実験後 ・結果を基にした考察(6年)	(A)について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 【主体態②】 ・理科を学ぶことの意義や有用性の認識という側面

※(ア)は、知識に関する内容を示している。(A)は、内容のまとまりにおける学習の対象を示している。

※下線部は、学年によって異なる場合がある部分を示している。

はばたく群馬の指導プランⅡ 単元のつくり方

過程と基本的な学習活動

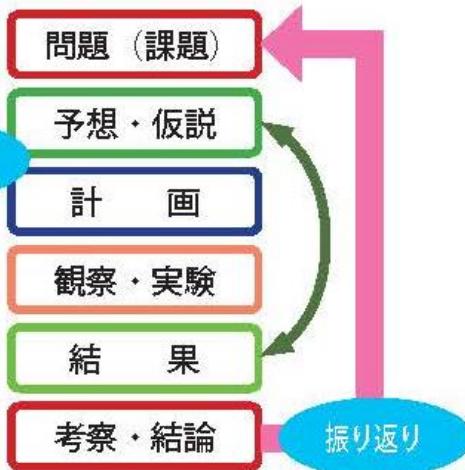
ふれる・つかむ

1 自然事象に働きかけ、単元の課題をつかむ。
◇対象となる自然事象について知っていることを発表する。
◇自然事象に触れ、気付きや疑問を共有する。

【単元の課題】
〈単元全体で解決する大まかな内容〉

2 問題解決(探究)の過程に沿って観察実験を行い、問題(課題)を解決する。

問題解決の過程(探究の過程)



次の問題解決(探究)の過程

次の問題解決(探究)の過程

3 学習をまとめ、自然や生活にあてはめる。

単元のまとめ

- ◇単元の課題について振り返り、分かったことを図や言葉でまとめる。
◇学習内容を別の自然事象に適用したり、ものづくりをしたりする。

〈例〉評価の位置付け

知識・技能	思考・判断・表現	主体的…態度
【知技①】 単元の学びに必要な知識や技能	【思判表①】 問題の見だし	
【知技②】 ^記 器具の操作や、結果の記録	【思判表①②】 ^記 問題解決の力	【主体態①】 ^記 問題解決に取り組む態度
【知技①】 ^記 性質や規則性についての理解		【主体態②】 ^記 理科を学ぶことの意義や有用性

主に学習活動において、児童の学習状況をみとり、評価をすることになるので、単元が、問題解決的な学習でない限り、評価をすることはできません。

全ての単位時間において、「ねらい」に即し、児童生徒の学習状況をみとり、必要があれば、教師が指導、支援するなどして、その改善を図ります。

「指導と評価の一体化」の充実

「評定に用いる評価」(評価したことを記録に残す)^記

- ・目標の実現状況が子供の反応から顕著に見られる場面を精選します。
- ・知識・技能の技能面、思考、判断・表現については、観察、実験の中や、その前後で学習状況を捉えます。